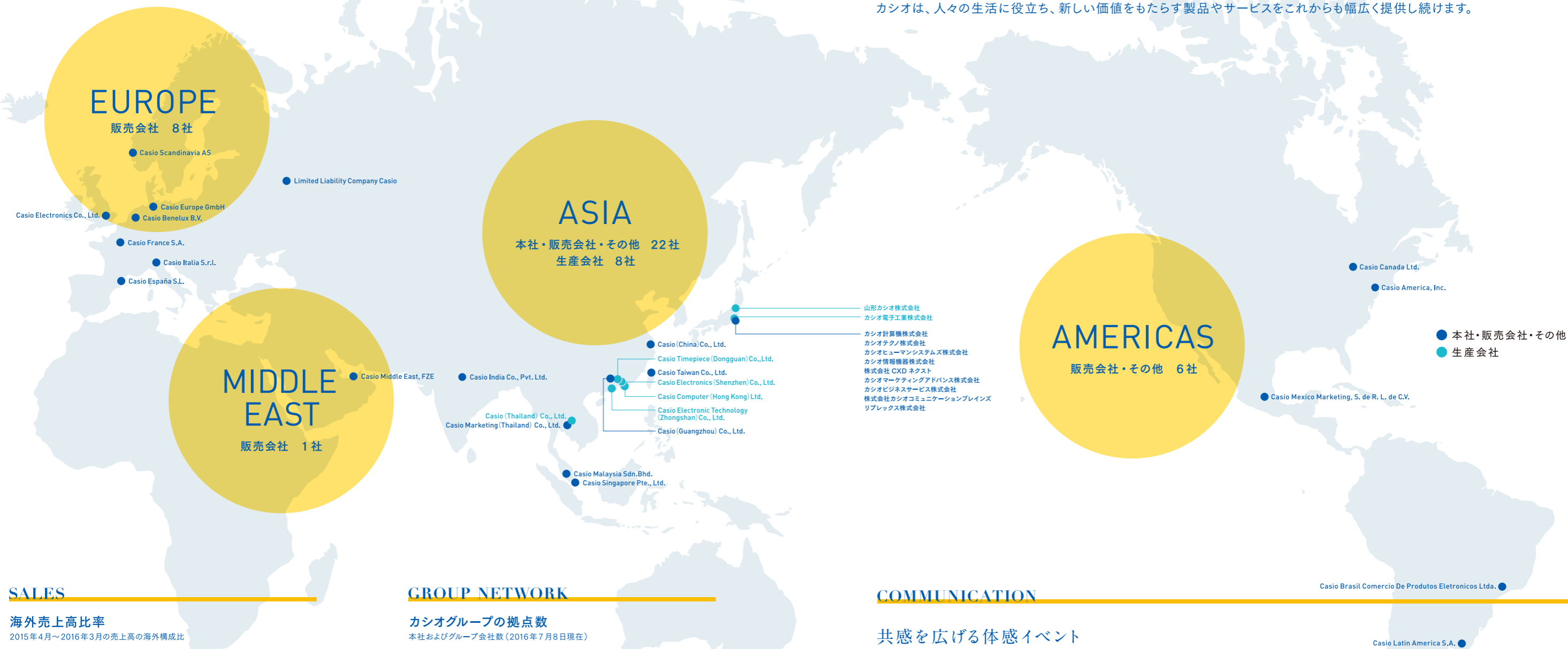


GLOBAL

グローバルに展開するカシオ

多くの人々に親しまれているCASIOブランドの製品は、グローバルに連携した生産体制と各国に広がる販売ネットワークによって世界中に届けられています。カシオは、人々の生活に役立ち、新しい価値をもたらす製品やサービスをこれからも幅広く提供し続けます。



SALES

海外売上高比率
2015年4月～2016年3月の売上高の海外構成比

68.6%

BRAND

CASIOブランドの商標登録数
広域商標制度を利用した地域は1地域としてカウント

187の国と地域

世界における販売エリア
2015年4月～2016年3月の正規販売エリア

167の国と地域

GROUP NETWORK

カシオグループの拠点数
本社およびグループ会社数(2016年7月8日現在)

45拠点

PRODUCTS

電卓の世界累計出荷数
1965年9月～2016年3月の累計出荷数

14億台以上

G-SHOCKの世界累計出荷数
1983年4月～2016年3月の累計出荷数

8,700万個以上

COMMUNICATION

共感を広げる体感イベント 「SHOCK THE WORLD」

G-SHOCKの本質である「タフネス」を、ブランドの世界観とともに伝えるグローバルなプロモーションが「SHOCK THE WORLD」です。2008年にニューヨークで開催して以来、世界各国の延べ73都市(2016年7月現在)で実施。G-SHOCKファンの方々に、製品の持つ魅力を全身で感じてもらう取り組みです。

世界の展示会で存在感を高める CASIOブランド

カシオは、世界有数の企業が参加する展示会に毎年出展しています。ラスベガスで開催される世界最大級の家電見本市「インターナショナル・コンシューマー・エレクトロニクス・ショー(CES)」や、世界中のメディアやバイヤーが集まるスイスの時計・宝飾見本市「バーゼルワールド」から、最新情報をグローバルに発信しています。



SHOCK THE WORLD 2016 SHANGHAI



CES2016



バーゼルワールド 2016

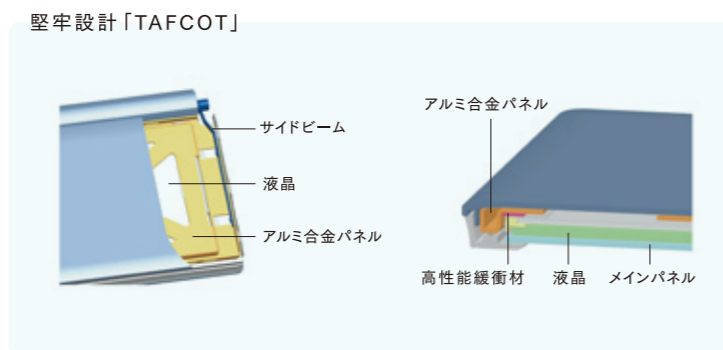
グローバルで信頼されるカシオ

カシオは、より長く、安心して使用できる製品を提供するため、徹底した品質管理の下、設計段階から完成品に至るまで、常に妥協のないモノづくりを実践しています。また、安全に楽しく暮らせる社会の実現に向けた活動を、世界中で展開しています。

→ 信頼性への取り組み

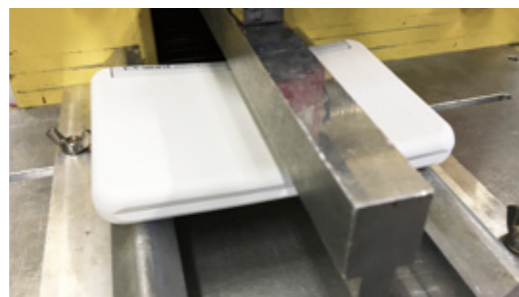
安心して長く使える設計思想

カシオには、製品を長く使っていただくための設計思想があります。堅牢性を高める技術「TAFECOT（タフコット）」は、高強度材のサイドビームとアルミ合金パネルでボディ剛性を高めているほか、内部に保護空間を確保するアルミ合金パネルと高性能緩衝材によって、外部から液晶表示パネルにかかる力を和らげる設計です。使用中に落としたり、かばんの中で力が加わったりすることを想定した電子辞書に採用しています。



設計段階での徹底した品質試験

製品の使用状況を想定した品質規格を策定し、設計段階からプロトタイプによる厳しいテストを実施しています。例えば、電子辞書の加圧テストでは、本体に荷重を加え、上方向からの堅牢性を検証します。また、高所での使用が想定されるハンディターミナルでは、設計通りの落下強度があるかどうかを試験します。さらに、防水や防塵など、製品ごとの規格を全てクリアしたものが生産プロセスに進むことができます。



電子辞書 加圧テスト



ハンディターミナル 落下テスト

高水準の製造技術で品質を高める生産体制

山形カシオの「プレミアムプロダクションライン」では、独自の製造装置で精度を極限まで高める技術と上位の技能認定者のみが持つ人間の高度な技術によって、高品質な高価格帯のブランド時計を生産しています。また、海外生産ではグローバルな生産体制の下で高い製品クオリティを実現しています。例えば、カシオタイでは不純物の混入を防ぐクリーンルームでプラスチック部品を成形し、信頼性の高い製品を安定的に生産しています。



山形カシオ プレミアムプロダクションライン



カシオタイ プラスチック部品成形ライン

→ 環境への取り組み

有害な水銀ランプを使わない環境配慮型商品

カシオは、環境への負担が少ない製品を積極的に開発しています。プロジェクターでは、世界で初めて高圧水銀ランプを使わない独自の光源技術で、高輝度投影を実現。全製品で「水銀ゼロ」を達成しました。有害物質である水銀のリスク削減を目的とした「水銀に関する水俣条約」など、世界的に水銀不使用が呼びかけられる中、カシオはプロジェクターを通じて「水銀ゼロ」を推進するリーディングカンパニーとして、環境負荷の軽減に努めています。



地球温暖化防止のための地域活動

中国の生産拠点であるカシオシンセンでは、地域行政機関が推進している苗木の植樹活動に、社員がボランティアとして毎年参加しています。2016年で9回目となり、地域における緑の成長を見守っています。また、カシオが主催する日本の男子プロゴルフトーナメント「カシオワールドオープン ゴルフトーナメント」では、大会期間中にギャラリーバスが排出するCO₂のカーボン・オフセットを2010年より行い、温室効果ガス削減の自主的な負担をするとともに、自家用車による排出CO₂の削減のためギャラリーバスの利用促進を図っています。



カシオシンセン植樹活動（左：2015年の植樹活動 右：2014年に植樹して成長した樹木）

→ 社会への取り組み

教育環境の改善や科学技術への興味喚起を目指した活動

カシオ中国では、貧困や災害が原因で教育環境に恵まれない児童に向けて「私の夢のリュックサック」と題した支援活動を行っています。児童には文房具などを入れたリュックサック、学校には電卓や電子楽器など授業で使えるカシオ製品を贈呈し、子どもたちの教育環境の改善を目指しています。また、カシオの創業者の一人が残した数々の発明を伝えるために設立した榎尾俊雄発明記念館は、子どもたちに向けた夏休みの企画展示を実施しています。2015年は、電卓とそろばん、ストップウォッチと砂時計、電子辞書と書籍の辞書を実際に比べて、デジタルの原理やデジタル化によるメリットを子どもたちに体験してもらい、科学技術に興味を持ってもらいました。



カシオ中国 私の夢のリュックサック



榎尾俊雄発明記念館 夏休み企画展示